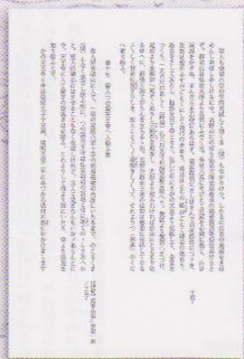
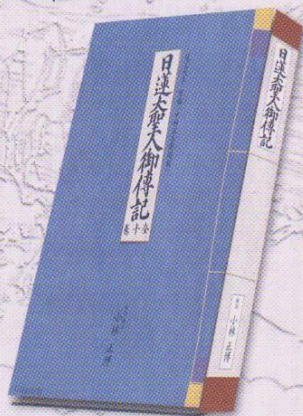


解説・解説
小林 正博

日蓮大聖人御傳記

江戸時代の初期に刊行された古書、延宝九年（一六八二）三月、京都の書肆「中村五兵衛開板」、絵入りの日蓮聖人伝記本『日蓮大聖人御傳記』は、大部の日蓮伝として江戸期に四度も版を重ね、日蓮門下の間に広く読まれていたベストセラー。注目すべきはその量の膨大さ。日蓮の生涯をこれほど詳細に記した日蓮伝は後にも先にもない。日蓮聖人のご一生の歩み、ご生涯の事蹟を豊富な絵を添えて（全挿図数八十八）、つづつたものでいわゆる祖師伝、絵入り御一代記、もとより和装版で、全五冊。十巻に分かれた、章数二〇七、全三三二一（六四四頁）の大冊。また当初より第十一巻として日蓮上人伝が加えられており、本書ではそれも解説した。原著作者は在家篤信の人と知れるが実名は伝わっていない。このたび、小林正博氏（東洋哲学研究所）の手によって解説が行われ、全文を活字化した日蓮聖人伝研究上、必携の書である。

江戸初期・延宝九年発行の幻の絵入り日蓮聖人伝
日蓮伝研究必携の初の全文解説活字化この春ついに完成！



小林正博

古文書学・書誌学／博士（文学）
1961年東京生まれ。学術院大学法学部、立正大学仏教学部卒、立正大学大学院
《学位論文「日蓮遺文の基礎的整理—受託書と古文書学からのアプローチ—」》
主筆学術インストラクター、古文書一般資格、博物館学士資格。
主な著書に『日本仏教の歩み』『日蓮の真実』『日蓮の隠れた故事・秘話』。

配本 平成 24 年 2 月～ 3 月中旬

※予約注文受付（限定 500 部）締切後の配本となります。
書店では取り扱っておりません。予約特典資料付き

A5 判・本文 384 頁・巻頭カラー・並製本（PP 加工／木口折り）
お申し込みは、ハガキ・電話・FAX・ホームページで
お支払いは、商品が届いてからの後払い。（局振替用紙）
※多部数割引適用／ホームページ「お問い合わせ」フォームにて受付

■仏教図書出版

発行
発売

USS出版

〒170-0005
東京都豊島区南大塚3-1-6
TEL 0120-482-471
FAX 0120-482-472

●予約特別価格 3,000 円（税込・送料別）

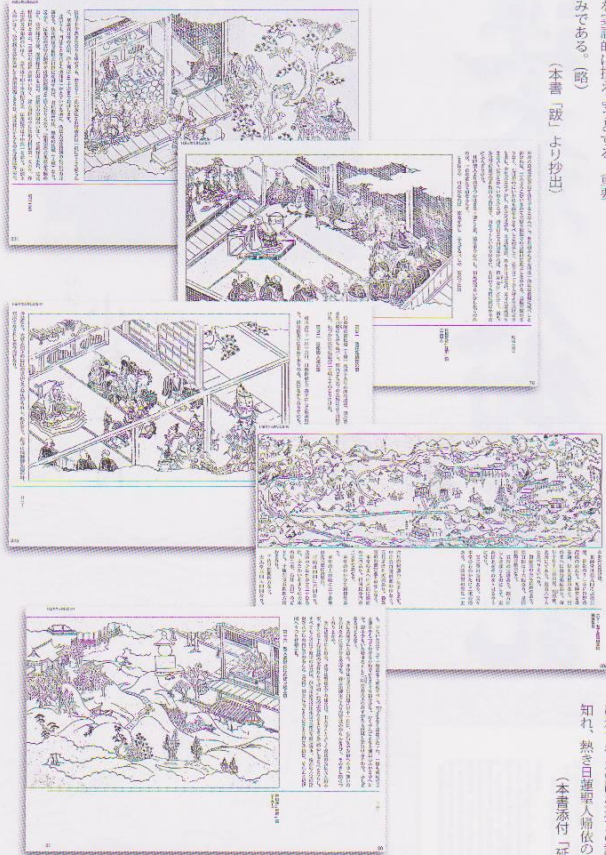
〈詳細〉 <http://www.uss-shuppan.com> USS出版 検索

出版助成：一般財団法人 本多日生記念財団 2011・2012

幻の日蓮聖人伝

全文解説『日蓮大聖人御伝記』

全88面の豊富な挿絵、高い絵画性
 日蓮聖人と讃や初出所伝の宝庫 全11巻を収録
 当時の身延山詳細全図（天保本収録絵図との対比）



本書各巻「目次」(目録)より

- 日蓮大聖人御伝記巻一
聖人系図の事～正元元年平家頼朝の事／題目を唱る功德の事
- 日蓮大聖人御伝記巻二
安国論を製作し説明寺時頼へ被上事～東条左衛門景信聖人を小松原にて乳なむ奉らん企だる事
- 日蓮大聖人御伝記巻三
法華題目抄の事～聖人より平左衛門頼朝へ被遺状の事 聖人をめし取事
- 日蓮大聖人御伝記巻四
聖人胎口引遊事～平時宗、兄の時輔を討亡事
- 日蓮大聖人御伝記巻五
御弟子権那中への御書のこと～目前免状持、さどが舟へ下向の事／むさしの前可状の事
- 日蓮大聖人御伝記巻六
教免につき念仏者食義の事～蒙古国よせ來る事／蒙古の人、詩の事／創立正徳抄の事
- 日蓮大聖人御伝記巻七
蒙古より使の事～末代法花行者位并用心の事
- 日蓮大聖人御伝記巻八
鎌倉にて三位公日心と龍象坊と法門の事～伊豆国江川の事
- 日蓮大聖人御伝記巻九
聖人父母の御墓を日毎にこひ忍び給ふ事～大聖人と讃の事／聖人は上行菩薩の再誕なる事
- 日蓮大聖人御伝記巻十 身延之巻
- 日蓮大聖人御伝記巻十一
聖人御入闕以後、日御に随ひ給ふ事～日蓮日御像の菩薩号の事

出版助成：一般財団法人 本多日生記念財団 2011・2012 ※本書の電子ブックは助成頂いた財団のホームページで閲覧できます

庶民の「日蓮聖人信仰」を語る書

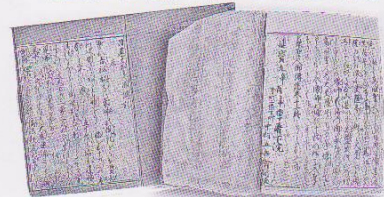
中尾 亮

（略）日蓮聖人の絵巻は、日蓮聖人が創唱した法華経信仰が、庶民の間で広がるにしたがって、享受される範囲を拡大していき、戦国時代から桃山時代になり、「日蓮聖人法華讃」が盛んに筆写された史実は、日蓮聖人の「祖師信仰」が広まりを見せたことを物語る。
 近世における日蓮聖人伝の叙述は、二つの注目すべき要素がさらに加わった。その一は、日蓮聖人の「遺文」を確認したうえで、その叙述がなされ、「日蓮聖人遺文」に伝記の根拠をもとめる、当時の学識者の実証的な関心を示している。もう一つは、庶民が宗教的な超人に寄せる、限りなく救いの期待と信仰である。（略）
 小林正博氏の翻刻になる『日蓮大聖人御伝記』は、延宝九年（一六八二）に刊行された類書の嚆矢をなすものである。今まで必ずしも高く評価されず、書架に埋もれていたこの大部の日蓮伝の内容が公開されることは、今後の日蓮伝研究に大いに資するであろう。小林氏の全文解説の意図は、江戸時代初頭における、日蓮聖人を仰ぐ「祖師信仰」の実像を窺い、庶民の信仰心情を描き上げるところにある。それは、既定概念にとらわれることなく、庶民の精神史を美証的に捉えよとする、重要な手掛かりとして大きな意味を持つ営みである。（略）

（本書「跋」より抄出）



延宝本全11巻(5帳綴り)の版本/11巻は日像上人御伝記

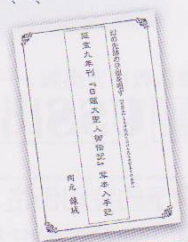


延宝本の巻頭と巻末布

幻の先師の学徳を讃す 四元 練城

（略）本書は後代の私たちが二、三百年前の作品、時間上は明らかに古典である。いつまでも多くの人々に読みつづけられる名作、それが古典であろう。とすれば、本書は今日においては古典の名を冠し難いと思われ、延宝初刊以降、寛政、文化、天保と江戸時代に入り、版を重ね読者多数を獲得した実情を思えば、現在ではその名と存在は知る人ぞ知るものとして、著聞にあらずし、読まれていくかと言えは恐らくはそうではないであろう。（略）
 執筆の要領や態度は「聖人の消息を本とし」、そのものであって、まさしく正當な対応である。この骨格に「かれこれ附記をつめて」編成し、巻目二（百餘科）（実には二〇七章）を連定、生涯の事跡を年次に従って編んだのである。述べられた「日記」とは先行の諸書をさすものかもしれないが、先記の如く参照依用の実証不能のようであり、それよりも多用されている伝聞古記の類や巷間流伝のいゆる釋史の類をさすのではなからうか。本書初出にかかる事跡は少なくないのである。（略）
 作者の熱心な脚字に本学は学ぶべきであり、大部の日蓮伝である本書の存在、ことに近世初期であったその初期の出版は我等学徒にとって頂門の一許であると思を受け、ともあれ、本書に示される冷静な遺文の読みと適切な活用法、作者がなみなみならぬ学解の人、信解の人と知り、熱き日蓮聖人信仰の心がこの大冊を誕生させたのであつたらうのである。（略）

（本書添付「延宝九年刊『日蓮大聖人御伝記』写本人手記」より抄出）



本書添付資料

御住職様各位

幻の「日蓮聖人伝」(延宝九年版)全文・解説・活字化成る

『日蓮大聖人御傳記』

全 1 巻

多部数割引のご案内

このたび、小林正博博士の手によって江戸初期に刊行された幻の「日蓮大聖人御傳記」全十巻が全文解説活字化され、全一巻に収められました。

本書はこれまでにない日蓮聖人の御一生の歩み、ご生涯の事跡を豊富な絵(八十八図)を添えて綴ったものです。

ついでに、活字化により大変読み易くなりましたことから、御自坊の総代様・役員様・檀家様へ古より読まれ親しまれてきた「日蓮大聖人御傳記」を一家に一冊常備されることをお薦め申し上げ、ここに多部数割引のご案内を申し上げます。

- ◇ 歴代住職様のご法事・記念行事の引き出物等にご利用ください。
- ◇ 法系・法類寺院様との共同購入にも最適です。
- ◇ 購入特典——包装/のし紙/表書き印刷承ります。

檀家様への教化活動に是非、ご検討ください

1～19部	3,000円
20～49部	2,900円
50部以上	2,800円
100部以上	2,700円
200部以上	2,500円